

我究図⑥ 出口芳夫さん（大学5年・メーカー、メディア志望）

Being : 自分のこだわったモノで影響を与える人
Having : 自分のこだわったモノを受け入れてくれる人（観客）、夢を共有して一緒に本気でモノを作っていく仲間、自分の話を楽しそうに聞いてくれる人、自分を受け入れて愛してくれる人と生活するお金
Giving : 人の記憶に残る唯一無二のモノを生み出す

「最高傑作」が完成した瞬間に死ぬ

記憶に残る唯一無二のモノを作って、日本中の人に届けたい

「唯一無二」を受け入れてくれる仲間、
そのための信頼を得る

・「モノ作り」の現場に対する知識・経験を積む
・ロールモデルを探す

会社という組織の中で記憶に残る唯一無二のモノを生み出していきたい

・監督として映画制作（脚本執筆、20人のメンバー集め、クラウドファンディング）
→ 本気でやれば人はついてきてくれる！ = 仲間が本気になれる環境を自分でつくる
→ 自分がこだわって作ったモノをもっと多くの人に見てもらいたい！

我究館へ 現在

大学5年

大学3年

・就活をしない選択 → 全体の中で個を殺されることへの恐怖
・映画を作っている先輩との出会い → 本気、本音でのモノ作り

浪人

・文章を書く仕事をしたいと思い文学部を目指す

高校

・小説執筆やピアノ演奏で自分だけの「美学」を追究
→ 表現の中で個性を出そうとするように → 誰に向けて表現しているのか分からなくなり葛藤

中学校

・仲のいい友達が「選抜クラス」に選ばれる中で、数学だけ苦手だった自分は選ばれず勉強へのやる気を失う
→ 勉強ができることが自分の個性ではなくなる

小学校

・苦しいが充実した受験 → 第1志望の中学に合格

・小1から中受用の塾に → 勉強が失った自信を補う個性（強み）に

誕生 / 幼稚園

・一人っ子、歴史やクラシック音楽が好きだったが、周囲に面白さを理解されず → 孤独感から自信を失う

死